



佐藤渡辺は10、11の両日、女性技術者による安全パトロールと役員との座談会を実施した。安全パトロールには女性技術者7人や堂尻伸二工事本部安全環境部長ら計12人が参加し、山梨県南部町で施工が進む中部横断富士楮根地区

舗装工事の現場を視察した。11日に本社で実施した役員との座談会には石井直孝社長や原義久副社長らも出席し、忌憚(きたん)のない意見を交わした。写真。

役員との座談会では、「仕事中に困っていること」「会社への要望」「女性技術者が入社しやすい環境とは」などのアンケートへの回答をもとに意見を交換した。冒頭、あいさつに立った石井社長は「皆さんや今後入社する女性社員

仕いる点、今後の人材確保に向けたアイデアなどの率直な意見、また「他社の女性技術者と意見交換ができる場がほしい」といった要望なども寄せられ、役員側も真摯(しんしん)に受け止めた。

佐藤渡辺 女性技術者と役員座談会 増員の意思理解

ての見地から現場の安全や作業環境、社員の働き方改革について実態を把握した上で対策やアドバイスをしてもらうことを目的として実施。中部横断自動車道の開通に向けて舗装工事が進む現場の様子などを視察した。

終了後、参加者からは「社員のことを気にかけてくれていることが分かって安心した」「意見を取り入れようとする考えや女性技術者を増やしていくこととする意思があることが理解できた」などの感想の声が上がった。

が働きやすい職場環境をつくり、結婚や出産などを経ても長く活躍できる環境とするため、一緒に考えていきたい」と呼び掛けた。

座談会は今後も継続して実施する予定で、石井社長は「座談会を通して女性技術者の活躍を推進する社内のネットワークになれば」と期待を述べた。

参加した女性技術者からは、自身の抱えている悩みや日々の職場で課題だと感じて

述べて

